

令和3・春

30号

さくら 21

新生

清流光神
ハクジャオ
SEIRYU KOUSHIN-HAKUJAOH



コロナに 負けない！

特集

- ・地方創生 HEROES 清流光神 ハクジャオー
- ・岩国市日の出公園内温浴施設『スパ・サンライズ』に行ってみました
- ・ちょっと一息

岩国ヒーロー委員会からバトンを受け取り、 地方創生 HEROES を発足いたしました。



NPO 法人
地方創生 HEROES 代表理事

榎本将大さん 26 歳

2008年より発足しこれまで数々の功績を創り上げてきた岩国ヒーロー委員会からバトンを受け取り、この度地方創生 HEROES を発足いたしました。地方や市民の方に寄り添った活動を我々は推進していきます。

地方のヒーローだからこそ地方にできる貢献の方法を考え、賛同してくださる熱い仲間たちと共に子供たちの笑顔と地域活性の架け橋となるべく邁進して参ります。

NPO 法人岩国ヒーロー委員会の足跡	
2008 年	発足
2009 年～2012 年	ケーブルテレビ局（株）アイ・キャン にてドラマ放送
2012 年	・にっぽんケーブルチャンネルにて 清流光神ハクジャオのドラマの 全国放送が開始 ・ハクジャオが岩国市観光大使に就任
2020 年	NPO 法人岩国ヒーロー委員会が世代 交代のため解散

岩国ヒーロー委員会より 継承することになったきっかけは？

小さい頃から、ヒーローになりたいという憧れを持っていたこともあり、住宅展示場やショッピングモールを中心に行われる、仮面ライダーやスーパー戦隊のようなヒーローショーに出演していました。

兼ねてより親交のあった岩国ヒーロー委員会創設者の河口久彦さんと出会い、造形を学びながら共に盛り上げていく予定でしたが、コロナの影響でショーが全くできなくなり、活動が一旦止まってしまいました。

岩国ヒーロー委員会からの世代交代にあたり、コロナ禍ではありますが、「この街に残つて岩国のためにできることに挑戦したい」という思いで継承、新理事長となりました。

音楽活動の経験から音響や製作を行い、造形を学んだ経験でコスチュームのメンテナンスも行っています。また、脚本・演出まで行うアクションチームを設立し、同じ志を持つ仲間と共に熱く活動しています。



榎本さん自身がハクジャオの
スーツアクターを演じています！
(市役所屋上にて)

ローカル ヒーローについて思うこと

地域に密着して、地域が望む形をヒーローという媒体で提供できるこの業界にはとても面白味を感じています。全国にもたくさんのヒーローがありますが、アクション・映像・地域への密着に対してのこだわりが我々の一番の強みかと思います。「どうやってワクワクさせることができるか、心躍る活動ができるか」を常に考えています。興味をもってやり続けることが、最終的に地域のためや人のためになるという思いでやっています。ヒーローが提供するエンターテイメントに対して、貪欲にやっていきたいなと思っています！



清流光神ハクジャオ公式サイト <https://hakujaoh.jp/>
公式ツイッターやYouTubeへの動画アップも行っています。

榎本さん～自身について～

コロナ禍でも諦めずにしがみついてきたことで、今の活動ができているのだと思います。しかし、私自身は自分の興味のあることしか頑張れず、嫌なことでも黙々とやり続けられる人のことを羨ましくも思っています。

子どもの頃は、学校という枠の中でのやりがいが見出せずに、友達と仲良く遊ぶこともせず、教室の隅で目立たない学生時代を送っていました。

社会人になってから、自分のそういった部分がアスペルガー症候群の影響であることを知りました。しかしその一面を知ったことで、興味のあることにはひたすら没頭できるというポジティブな部分を見出すことができました。

自分で自分の個性を受け入れて、今の自分を楽しんでいくことが大切だと気づき、毎日を過ごしています。

男女共同参画的な視点

アクションの世界は現場で抱えている問題も多く、女性にとっては着替えの場所の確保など、具体的な困りごとがあります。自分たちのチームでは、何でも話せる雰囲気づくりや信頼関係の構築を重要視し、しっかりコミュニケーションをとることを心掛けています。

女性メンバーもアクションを行い、「やりがいがある、楽しい」と言ってくれています。

「男性だから」「女性だから」と決めつけず、男性も女性も「できることはどんどんやろう」という姿勢で臨んでいます。





岩国市日の出公園は市民のふれあい交流、また、憩いの場・健康増進の場として利用していただける施設です。公園内の温浴施設「スパ・サンライズ」は、ごみ焼却施設（サンライズクリーンセンター）の余熱を有効利用しています。

温浴施設は、他にも一周約30mの歩行専用水槽やサウナがあります。

また、無料で使用できるくつろぎスペース、休憩・多目的室などがあり、屋外スペースには足湯や子ども遊具などもあります。

スパ・サンライズご利用案内

利用時間 午前10時～午後9時（受付午後8時半終了）

定休日 水曜日

利用料金 一般 15歳以上 一人1回 500円

小中学生 一人1回 200円

足湯及び休憩・多目的室の入場は無料

岩国駅東口 ⇄ 日の出公園を結ぶバスが運行しています。

お問い合わせ

岩国市日の出公園温浴施設 スパ・サンライズ

〒740-0014 山口県岩国市日の出町2番74号



0827-23-1126

ちょっと
一息しませんか?



コロナ禍 外出自粛期間中、運動不足になつていませんか？

GO TO 岩国城目指して！

吉香公園駐車場から洞泉寺の前を通り、紅葉谷公園の脇を抜けて山道を登るコースを行くことにしました。

車両通行禁止のバーを越えると第一の難所が始まります。永遠に続くかと思われる坂道です。(写真1)
これからこの時期は新緑が大変美しく、清々しい空気の中を進んで行きます。

右足、左足、右足、左足とひたすら足を交互に進めると、やがて左手に滝が現れます。(写真2)
ここで一息(紅葉の枝がガシバレと手を振ってくれているような気持ちになります。)

その後なだらかな山道が続きます。風の音や鳥の声、木々の香り、日の光と季節を感じながら、顔を上げ、背筋を伸ばし、足取りも軽やかに進みます。

いくつかのカーブを曲がった後に、突然また急な坂が現れます。滑り止めの路面が最後の難所です。遙か下方に吉香公園が見えます。もう登るしかありません。

急に明るい場所に出たら、そこはロープウェイの山頂駅です。ここまで歩いて登った自分を褒めてやりたくなります。道も平坦になりベンチもあります。桜を眺めるもよし、休憩するもよし。ここからはご存じの岩国城への道です。まっすぐに伸びた杉林の中の道は、私の好きなポイントの一つです。(写真3)これまでの山道と違う整備された木々に、かつて何人もの人々がここを行き来したのだろうと歴史を感じます。

階段を上がるといよいよ岩国城が姿を現します。(写真4)心地よい疲労感と達成感、そこから眺める錦川、錦帯橋、城下町、瀬戸内海、爽快です。(お城によく来たねって言われているような気分になります)(写真5)

季節や時間、天候によってそれぞれ表情を変えるので、いつ行っても気持ちがよく、地域の方々のおかげで、清掃も行き届いていることに感謝しつつ、片道 1500 メートル 約 30 分のプチ登山 おすすめです。



ひとりキャンプ

昨年のコロナ禍でブームとなったキャンプ

家族や友達とのキャンプもいいけど、自分はひとりキャンプにはまっている。

キャンプの楽しみといったら、大自然を前にゆっくり寛いだり、自分で起こした炭で、日頃料理をしない男性でも楽しくキャンプ飯を作り、焚火を見ながらお酒を飲んだり、誰にも邪魔されない自分だけの時間は最高だ。

百円ショップで売っているスマートチップを使い、燻製料理など普段作らないような料理に挑戦してみるのも楽しい。
「一人でキャンプして楽しいの？」とか、「そこで知り合った方たちとも交流するの？」など、聞かれるが、
「一人になりたいからひとりキャンプをしているので他の人の交流はしなくていいかな」

(30代男性)

なるほど！ それもそうですね





ご案内
Information

令和2年度 岩国市男女共同参画川柳入賞者発表

《一般の部》と《学生の部》を合わせて347作品の応募があり、厳正なる審査の結果、入選作品が決定しました。

コロナ禍による外出自粛の影響か、家庭内の男女共同参画に関する作品が多く寄せられました。



《一般の部》

最優秀賞	コロナ禍に 深まるきずな 家族の輪	石川 治久
優秀賞	おそろいの エプロン姿の 父と僕	松田 洋子
入選	テレワーク あいた時間で 家事見習い	ペソネーム「エフ ロンパ ハ」
	腕振るう 父のレシピは 祖母ゆずり	ペソネーム「ムスカリ」
	「らしく」より 同じ歩幅で 歩もうよ	村中 厚子

《学生の部》

最優秀賞	抱っこひも フリーサイズで よろしくね	麻里布中1年 山口 日々希
優秀賞	「ありがとう」 その一言で 差別なし!!	麻里布中1年 佐古 真優
入選	平等に 接する人の 温かさ	麻里布中1年 長尾 莉琥
	うちにはね 主婦いるけれど 主夫もいる	麻里布中1年 堀渕 結奈
	違うけど 違っていいじゃん この世界	麻里布中1年 南園 小結姫
	決めないで あれは男 これ女	麻里布中1年 岡田 優里菜
	家事当番の 父を励ます 家族愛	灘中3年 田村 若菜



岩国市男女共同参画室
フェイスブックをオープンしました。

岩国市が主催する講座やイベント案内を中心、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みや情報を発信していきます。

ぜひ、皆さんからの「いいね!」やコメントをお待ちしています。



新型コロナウィルス感染拡大による外出自粛や休業が長引く中、生活不安やストレスなどが原因となるDV被害が懸念されています。

内閣府では、新たな相談体制として、DV相談+(プラス)を開設しました。

電話(24時間受付) 0120-279-889

またDV相談+(プラス)ウェブサイトから、メール相談(24時間)やチャット相談(12:00~22:00)も受け付けています。

ひとりで悩まず相談してください。



編集後記

長引くコロナ禍で、どのような紙面にするか色々考えましたが、今回は「少しでも元気になれるような内容にしよう」ということになりました。密を避け、昔行った場所の魅力再発見ということでお久々にお城山にも登り、編集委員の体験レポートとなりました。「Go to お城山」健康維持のためにもおすすめです。

編集委員 塚本 村中 胃甲 村上 岩光